

＜中学校＞

- ・食事や起床・就寝時間など、基本的な生活習慣が着実に定着しつつあります。
- ・テレビ・DVDの視聴が長時間に及ぶ傾向にあります。ゲームをする時間やスマホなどの通信機器の使用時間は、減少傾向にあります。
- ・家庭学習では、ほとんどの生徒が宿題や復習を中心にしっかり取り組んでいます。また、土曜日や日曜日など学校が休みの日に、勉強時間に費やす時間が増えています。
- ・困難なことに失敗を恐れずに挑戦する気持ちが弱い傾向が見られましたが、物事をやり遂げたときの達成感を感じているので、自信を持って物事に取り組むことが大切です。

＜具体的な方策＞

- ◇これまでと同様、自学ノートを提出させたり、テスト前に学習計画表を作成させたりするなど、家庭学習の定着を目指します。また、各家庭に配布済みの「家庭学習の手引き」を基に、学習時間を確保するなど、家庭と連携した取組に努めます。
- ◇授業や学級活動、道徳、総合的な学習の時間、部活動などを通して、自分の生き方や将来について考えられるように指導します。また、生徒の自己肯定感を一層高め、自信をもって物事に取り組める生徒を育てます。

● 児童生徒をより伸ばすための学校の取組（改善策）

＜小学校＞

【国語】

- ・文章を読み取るための視点をつかませ、根拠を明確に自分の考えを表現する学習活動の機会を増やしていきます。
- ・漢字や語句を正しく使って文章を書くことや、表現方法や語彙（ごい）の広がりを意識した学習活動に取り組みます。
- ・テストで間違えた問題の直しにより、理解を図ります。
- ・読書活動の習慣化を目指し、継続して朝読書や読書の仕方の学習に取り組みます。

【算数】

- ・学習内容の要点や数学的な考え方・見方の復習によって、計算力や答えの求め方等の基礎的・基本的な事項を確実に習得させます。
- ・操作活動※によって段階的に考える場面を多く取り入れることによって、筋道を立てて説明する力や解決する力を身に付けさせます。
- ※実際に物を用いて数量や形を考える具体的な操作と、数量や形を頭の中でイメージしながら考える念頭操作がある。

＜中学校＞

【国語】

- ・辞書や資料を使って漢字や語句を調べたり、文脈や書く目的にそった言葉を探す機会を意図的に設けたりすることにより、言葉への関心を高め、言語感覚を豊かにする指導を工夫します。
- ・聞き手の意見を具体的に予想して自分の考えをまとめたり、聞き手の反応を振り返ったりして話す授業づくりに努めます。
- ・身の回りにある具体的な資料を基にして、発信されているメッセージや情報を読み分ける指導を工夫します。
- ・個に応じた指導方法や手立てを工夫した授業づくりに努めます。

【数学】

- ・基本的な計算問題を反復して解くなど、基礎基本の確実な定着に取り組めます。
- ・問題の解決に当たって、獲得した基本的な事柄を活用し、見通しを持ち、筋道を立てて論理的に考えることができるように指導します。
- ・習熟度別指導や個別指導、放課後の補充的な学習により、つまずきのある生徒への指導を行います。

豊頃町の児童生徒の学習・生活の充実のために

- ◎学校では、学習規律の定着と同時に、基礎的・基本的な学習内容の確実な習得に努めるとともに、これを基盤とした体験型・課題解決型の学習活動を多く取り入れるなどし、子ども自らが主体的に学び、一人一人に自分の良さを見つけさせるようにしていきます。このためには、分かりやすい授業づくり、宿題の質を高めるなど、子どもたちが集中して学ぶことができるよう教育環境を整えます。合わせて、学習と余暇とを適切に配した生活習慣づくりを家庭や地域と連携して推進していきます。
- ◎家庭では、学校と連携・協力して、子どもの生活習慣等（「早寝・早起き・朝ご飯」、手伝い、テレビやゲームをする時間）を見直すとともに、家庭学習の習慣化に取り組ましましょう。今年度は、中学校の「家庭学習の手引き」の見直しをしました。小学生を含め、まずは授業の復習を中心に、その日のうちに行うようにしましょう。
- ◎地域では、学校行事や四季折々の町内行事、日常の活動場面などにおいて、子どもたちへの温かい励ましや教育活動へのご協力の程、お願いいたします。

～本町教育の更なる発展のために、町民一体となった教育環境づくりに取り組みましょう！～

問合せ先 教育委員会教育課学校教育係 ☎ (579) 5801

平成28年度  
全国学力・学習状況調査の  
結果の分析と考察

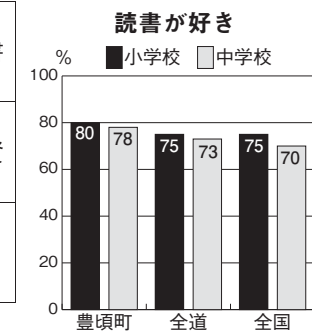
豊頃町の児童生徒の  
学力や生活習慣は？

【豊頃町教育委員会・豊頃町教育研究所】

本年4月に小学校6年生と中学校3年生を対象に、国語・算数（数学）の教科で、全国学力・学習状況調査が実施され、分析結果が9月下旬に示されました。この結果を基に、教育委員会・教育研究所では、町内各校の学力のより確実な定着に向けた取組を尊重しつつ、豊頃町全体の教育環境づくりの観点から、子どもの学びを育む学校、家庭、地域の更なる連携に期待をし、整理をしました。

● 豊頃の子どもの学力等の傾向

小学校	国語、算数ともに正答率が全国平均を上回る結果となりました。どの領域においても着実に学力の定着が図られてきています。特徴として国語では「読むこと」に加えて「書くこと」の領域、算数では「量と測定」の領域が、特にしっかりと定着していました。
中学校	国語の正答率が全国平均を上回り、数学が全国平均を若干下回る結果となりました。特徴として国語では「読むこと」の領域に加え「書くこと」の領域、数学では「資料の活用」の領域が、着実に定着していました。
全体	「読書が好き」と答える児童生徒の割合が全道・全国平均を上回り、読解力が身につくことは、他教科の理解力にも繋がっていきます。学校と家庭とが連携した学習に対する様々な取組が、確実に実を結び始めています。



＜小学校＞

国語A（知識）、国語B（活用）

- ・国語Aでは、「話すこと・聞くこと」の領域や、目的に応じて、図や表を関係づけて考える力が向上しました。
- ・「読むこと」の領域の定着が、学習内容の定着に繋がっていきます。
- ・国語Bでは、国語A同様「読むこと」の領域が定着することで、「書くこと」の領域での力が付いてきました。

算数A（知識）、算数B（活用）

- ・「量の測定や図形」の領域の理解が見られました。基礎的な計算技能が定着すると、更に良くなります。
- ・「数学的な考え方」を活用して、説明したりすることに改善が見られました。知識を基に筋道を立てて問題を解くことが数学的な考え方の定着に繋がります。

＜中学校＞

国語A（知識）国語B（活用）

- ・「書くこと」の力がついてことで、文章を書く際に、集めた材料を整理して文章を構成することができるようになりました。
- ・「言語についての知識・理解・技能」の領域で、漢字の読み書きや文脈での適切な言葉の使い方の定着に、改善が見られました。

数学A（知識）数学B（活用）

- ・図形の意味や性質を理解し、論理的に考察して問題を解いたり、作図をしたりすることができます。
- ・資料の傾向を的確に捉え、事柄の特徴を数学的に説明することができます。
- ・「数量や図形などについての知識・理解」の定着を図ることが、数学的に見たり考えたりする力をつけることに繋がります。

児童生徒の学力の傾向

● 児童生徒の学習習慣や生活習慣の傾向

～児童生徒質問紙調査から～

＜小学校＞

- ・生活面では、基本的な生活リズム（「早寝・早起き・朝ご飯」）に、改善が見られました。
- ・家庭学習の時間は、個々の取り組み方に違いはありますが、家庭生活の中に位置づけられる傾向にあります。地域の図書館等の公共施設を利用することも有効です。
- ・テレビ・DVD等の視聴時間は、未だ長時間に及んでいます。ゲームの時間は減少傾向にあります。
- ・自分を認め自信を持つことに、まだ十分でないところが見られますが、学級のみならず協力して、物事をやり遂げようとする気持ちを強くもっています。

＜具体的な方策＞

- ◇学校では、「分かる・楽しい授業づくり」に努め、子どもの学び意欲を高め、学ぶ楽しさを実感させていきます。また、家庭とも連携して、学習の仕方や学習習慣を身に付けさせるよう取り組みます。
- ◇家庭では、家庭生活の中に「家庭学習と読書」を位置づけ、テレビやゲームをする時間と学習に取り組む時間とのバランスを見直し、基本的な生活習慣が定着するようご指導願います。

豊頃町の児童生徒の学力や生活習慣は？

社協だより

役場だより

豊頃町の児童生徒の学力や生活習慣は？

社協だより

役場だより